

豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略における重要業績評価指標(KPI)の評価について

基本 目標	K P I			単位	H26 基準値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	基準値と 最新実績値 との増減	H31 目標値	K P I に対する 自 己 分 析 目 標 値 達 成 に 向 け た 課 題	総合戦略会議での評価・意見															
① しごとづくり	■有効求人倍率			倍	0.81	0.89	0.98	1.16		0.35	1.00	●取組数 13件 ●着手率 100.0% ●評 価 ◎ ○ △ × — <table><tr><td>◎</td><td>○</td><td>△</td><td>×</td><td>—</td></tr><tr><td>6件</td><td>5件</td><td>2件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr><tr><td>46.2%</td><td>38.5%</td><td>15.4%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr></table> ■評価での目標値達成46.2%に対し、 KPIでの目標値達成は約67%(全6項目中4項目)の進捗 である。 ■従業者数(事業所単位)は、実績が蓄積されない指標であるため、指標の再考が必要である。 ■創業に関する体制整備後の次の展開として、相談から創業へとつなげる主体的な取組とともに、販路開拓・拡大への取組強化が必要である。	◎	○	△	×	—	6件	5件	2件	0件	0件	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%	0.0%	【①全体として】 ■概ね基準値を超えており、進捗があるものと評価できるが、従業者数は自己分析のとおりである。 ■各項目とも準備段階から本格的な成果や実数を増やす期間へと移行するため、成果へとつなげる主体的な取組が必要である。 ■昨今の景気動向を考えると、有効求人倍率がKPIとして適切であるか検討する必要がある。 ■②「ひとの流れづくり」と連携したしごとづくりの検討も必要である。 【各分野として】 ■創業、販路開拓分野では創業後の支援についても検討が必要である。また、販路開拓以前の魅力的な商品開発の促進、支援が必要ではないか。 ■農業分野では就農に至らない要因分析を行うとともに、新規就農者で想定する農家をイメージした取組推進を期待する。
	◎	○	△	×	—																							
	6件	5件	2件	0件	0件																							
	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%	0.0%																							
	■従業者数(事業所単位)			人	77,982	—	—	—		—	77,982																	
	(1)創業、販路開拓への支援																											
	創業支援相談件数	件/年度	—	134	227	360		226	226																			
	販路開拓支援件数	件/年度	—	3	5	2		△ 1	8																			
	(2)就労、人材育成支援																											
	就労促進に関する事業への参加者数	人	647	696	670	835		188	515																			
(3)農業の担い手育成、経営、生産性向上の支援																												
新規就農者数	人/年度	13	14	20	22		9	15																				
② ひとの 流れづくり	■転出・転入者数			人	−125	109	495	331		456	0	●取組数 19件 ●着手率 100.0% ●評 価 ◎ ○ △ × — <table><tr><td>◎</td><td>○</td><td>△</td><td>×</td><td>—</td></tr><tr><td>5件</td><td>12件</td><td>2件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr><tr><td>26.3%</td><td>63.2%</td><td>10.5%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr></table> ■評価での目標値達成26.3%に対し、 KPIでの目標値達成は60%(全5項目中3項目)の進捗 である。 ■年間観光入込客数は増加傾向ではあるものの、進捗ベースの増加率(8.2万人/年)では目標値達成は困難である。 ■目標値達成に向け、さらなる来訪者(交流人口)増加に向けた取組強化が必要である。	◎	○	△	×	—	5件	12件	2件	0件	0件	26.3%	63.2%	10.5%	0.0%	0.0%	【②全体として】 ■準備や計画段階の取組が多い分野であるが、KPIが増加傾向にあることは評価できる。 ■転出・転入者数は総合戦略上の核となるKPIであり、最終年度で実績の要因が説明できるよう注視する必要がある。 ■重要なのは街の魅力づくりであり、④安全で快適に暮らせるまちづくりと連携した取組も必要である。 ■年間観光入込客数については、目標達成に届かない見通しであるため、要因分析とともに来訪者増加の取組強化が必要である。 【各分野として】 ■企業立地分野では、戦略的な誘致を視野に入れた取組が必要である。 ■中心市街地分野では、中心市街地だけにぎわいを測ることができる。 ■地域資源、観光分野ではリピーターを増やすおもてなしの人材づくりや宿泊など長時間滞在の取組検討も必要である。また、PR手法も新たな視点での再考も必要である。
	◎	○	△	×	—																							
	5件	12件	2件	0件	0件																							
	26.3%	63.2%	10.5%	0.0%	0.0%																							
	■年間観光入込客数			万人	711.5	707.9	715.8	736.1		24.6	783.6																	
	(1)企業立地の推進																											
	従業者30人以上の製造業の事業所数	事業所	123	—	—	132		9	128																			
	(2)中心市街地の活性化																											
	中心市街地の通行量	人	53,939	58,309	61,399	66,462		12,523	58,400																			
	(3)地域資源の活用推進と観光の振興																											
年間観光入込客数	万人	711.5	707.9	715.8	736.1		24.6	783.6																				
市内宿泊施設宿泊者数	万人	22.0	23.7	24.2	24.9		2.9	25.0																				
③ 結婚・ 出産・ 子育て 環境づくり	■「子どもを生み、育てる環境」市民満足度			%	—	44.0	—	47.7		3.7	50.0	●取組数 28件 ●着手率 92.9% ●評 価 ◎ ○ △ × — <table><tr><td>◎</td><td>○</td><td>△</td><td>×</td><td>—</td></tr><tr><td>9件</td><td>16件</td><td>1件</td><td>0件</td><td>2件</td></tr><tr><td>32.1%</td><td>57.1%</td><td>3.6%</td><td>0.0%</td><td>7.1%</td></tr></table> ■評価での目標値達成32.1%に対し、 KPIでの目標値達成は0%(全5項目中0項目)の進捗 である。 ■取組に対してKPIの上昇または改善が見込まれない部分があることから、適切な指標設定への再考が必要である。 ■要因分析と合わせて、子育てに関する不安材料を取り除く環境整備を引き続き実施する。	◎	○	△	×	—	9件	16件	1件	0件	2件	32.1%	57.1%	3.6%	0.0%	7.1%	【③全体として】 ■豊川市の政策における看板分野でもあり、先進的な取組もあり概ね評価できる。 ■合計特殊出生率は全国よりも高い水準であるが、総合戦略上の核となるKPIであり、将来に向けて注視していく必要がある。 ■政策的な反映ばかりでなく、雇用形態など社会的な不安も考慮する必要がある。 ■個別で見た取組では一定の評価ができるものの、③全体で見るとKPIに直結していない点が見られ、評価が難しい。相関を含めた検証が重要である。 ■女性の活躍が求められる中、ワーク・ライフ・バランスを考慮した取組の展開を進めなければ、合計特殊出生率の向上につなげることができない。
	◎	○	△	×	—																							
	9件	16件	1件	0件	2件																							
	32.1%	57.1%	3.6%	0.0%	7.1%																							
	■合計特殊出生率			—	1.64	1.58	1.62	1.58		△ 0.06	1.70																	
	(1)安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援																											
	子育てを前向きに捉える親の割合	%	92.9	90.6	92.6	92.1		△ 0.8	93.8																			
	合計特殊出生率	—	1.64	1.58	1.62	1.58		△ 0.06	1.70																			
	(2)地域における子育て支援サービスの充実と子育てにやさしいまちづくりの推進																											
	地域子育てネットワークの整備	地区	—	0	0	0	0	0	4																			
(3)保育サービスの充実																												
3歳未満児の受入れ	人	1,197	1,197	1,265	1,308	1,316	119	1,351																				
④ 安全 まちで 快適に 暮らせる	■住み続けたいと思う人の割合			%	—	77.7	—	76.2		△ 1.5	78.5	●取組数 13件 ●着手率 84.6% ●評 価 ◎ ○ △ × — <table><tr><td>◎</td><td>○</td><td>△</td><td>×</td><td>—</td></tr><tr><td>6件</td><td>5件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>2件</td></tr><tr><td>46.2%</td><td>38.5%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td><td>15.4%</td></tr></table> ■評価での目標値達成46.2%に対し、 KPIでの目標値達成は75%(全4項目中3項目)の進捗 である。 ■計画期間の後期に進展する取組と合わせ、目標値達成に向けた取組を引き続き実施する。	◎	○	△	×	—	6件	5件	0件	0件	2件	46.2%	38.5%	0.0%	0.0%	15.4%	【④全体として】 ■各項目ともKPIに対する影響をもつものと思われる、進捗から概ね評価できる。 ■住み続けたいと思う人の割合の減少については、要因分析が重要である。 【各分野として】 ■拠点周辺の人口割合については、微増微減の範囲なのか、取組の進展なのか、今後も注視が必要である。 ■高齢者の自立支援は、③結婚・出産・子育て環境づくりと並んで「住み続けたいと思う人の割合」を増加させると考えられるため、取組推進が重要である。
	◎	○	△	×	—																							
	6件	5件	0件	0件	2件																							
	46.2%	38.5%	0.0%	0.0%	15.4%																							
	(1)拠点間の連携と拠点周辺への居住促進																											
	拠点周辺の人口割合	%	53.6	53.6	53.7	53.6	53.8	0.2	53.8																			
	(2)高齢者の自立支援や就労、社会参加の促進																											
自立高齢者の割合	%	85.5	85.2	85.0	84.9		△ 0.6	83.6																				
(3)広域連携の推進																												
東三河広域連合による共同処理事務本格実施数	事業	3	3	6	6		3	6																				

総合戦略会議 KPIに関する 全 体 意 見	■早い年度で目標値を達成した項目については、要因分析に基づく上方修正など目標値の設定方法を検討する必要がある。 ■事業目的の達成と手法の達成率にズレが生じている項目もあり、KPIと各取組との相関を意識した再考が必要である。 ■③「結婚・出産・子育て環境づくり」について最重要課題と捉える必要性が高い。 ■一部においては、基本目標の枠組みで連携したKPIの設定も考えられる。
------------------------------	---

※1)実績値の網掛けは目標値を達成した項目となります。
※2)基準値と最新実績値との増減のうち、H26基準値が「—」の項目については、H27実績値と増減比較を行っています。